

建設委員会資料  
R2. 6. 10

土砂災害に係る啓発ポスターの掲示による早期避難の周知について

砂 防 課

1 要旨

「平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会」の提言を踏まえ、避難につながる取組の推進として、昨年度作成した啓発ポスターに加え、「避難行動研究チーム」による「避難行動を促進するメッセージ」を活用したポスターも作成し、6月9日(火)から順次、公共交通機関等に掲示し、早期避難の重要性を県民へ広く周知する。

更なる効果的な周知を図るため、昨年度の掲示場所に加え、県内全小学校や地域住民が広く利用する市町関係施設への掲示も行う。

2 啓発ポスターのメッセージ

- ①昨年度作成した「呼びかけ避難」の重要性をメッセージとした啓発ポスターに加え、
- ②「平成 30 年 7 月豪雨に関する県民の避難行動研究チーム」による「避難行動を促進するメッセージ」や、「新型コロナウイルス感染症の予防を踏まえた災害時の避難」(5/19 資料提供「危機管理監」)を活用したポスターも作成した。

① ～「助け出す」より  
「連れ出す」ことをまず、考える。～

平成 30 年 7 月豪雨の土砂災害による県内の犠牲者の半数以上が高齢者であったことから、土砂災害などの災害発生時に犠牲となりやすい高齢者の早期避難を促すため、高齢者の家族や近隣住民からの「呼びかけ避難」の重要性をメッセージとした。



昨年度作成

② ～あなたの避難が、  
みんなの命を救う。～

平成 30 年 7 月豪雨災害後に行った避難行動研究チームによる調査では、災害時に避難した人のほとんどが、「まわりの人が避難したから」を理由に避難を決めていたことが分かったため、これを踏まえた「率先避難」に加え、複数の避難先を確保することの重要性をメッセージとした。



新規作成

【ポスターサイズ B1縦, A2縦, B3横】

### 3 掲示場所

昨年度同様、広島県防災会議及び広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の構成員等への協力依頼により、多くの県民が利用する公共交通機関、小売店等への掲示を行うとともに、市町と連携し、地域住民が広く利用する図書館やスポーツ施設、公民館等の市町関係施設への掲示、市町広報誌への掲載等、更なる効果的な周知を図る。

機 関 名	依 頼 先	掲 示 場 所 <sup>※1</sup>	掲 示 枚 数 <sup>※1</sup>	掲 示 期 間
公共交通機関 <sup>※2</sup>	西日本旅客鉄道(株) 広島支社	約40駅 駅待合室等 (主要駅)	約80枚	2ヶ月程度
	広島電鉄(株)	約100車両 全車両内	約360枚	1ヶ月程度
		39駅 宮島線駅	78枚	2ヶ月程度
	(公社)広島県バス協会	県内15社 県内路線バス 車両内等	約1,400枚	2ヶ月程度
医療機関	(一社)広島県病院協会	約250病院 病院内 (待合室等)	約500枚	4ヶ月程度
小売店等 <sup>※2</sup>	各種店舗	店舗内	約2,000枚	4ヶ月程度
教育機関	県内全小・中・高等学校	約880学校 校舎内	約3,500枚	4ヶ月程度
市町関係施設等	各市町	図書館 公民館等	約3,000枚	4ヶ月程度
合 計			約10,900枚	

※：下線部は今年度新たに掲示する施設。

※1：掲示場所及び掲示枚数については、調整中。

※2：広島県防災会議及び広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の構成員等へ依頼。

### 4 今後の予定

- ・県民に広く周知するため、引き続き、県民が多く利用する施設等への掲示を調整する。

#### 【参考】令和元年度実施状況



JR広島駅構内



広電車内



ガソリンスタンド

配布先	実 績	
JR西日本	約40駅	約40枚
市内電車 (広島電鉄)	39駅 約100両	約700枚
県内バス	約1,200台	約1,200枚
病 院	約250病院	約250枚
小売店等	約1,200店	約1,500枚
中・高等学校	426校	約880枚
行政機関	23市町	約450枚
個別依頼等		約250枚
合計(枚数)		約5,300枚